

第4回

Network Medicine特論 講義のお知らせ

河本 宏 博士

(理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター
免疫発生研究チーム・チームリーダー)

「造血幹細胞からT前駆細胞に至る系列決定
の過程 - 古典的なリンパ系/ミエロイド系
二分法の概念からの脱却 -」

日時: 10月6日(水)17時30分
場所: 医学部5号館201号室

血液学や免疫学の教科書に描かれている造血モデルは、そのほとんどが最初の分岐でリンパ球系列と赤血球/ミエロイド系列に分かれるというものである。一方我々はこれまでに独自のミエロイド基本型モデルを提唱してきた^{1,2)}。このモデルは、赤血球、T細胞、B細胞へ向かう各分化経路上の前駆細胞が、それぞれミエロイド系の細胞への分化能を保持するというものである。最近我々が得た知見は、古典的モデルに対する決定的な反証となるものであった^{3,4)}。

本講義では、古典的モデルが形成された歴史的な経緯について概説した後に、我々の最近の成果を紹介し、造血モデル改訂の重要性について述べようと思う。

1. Katsura Y, Kawamoto H. Intern. Rev. Immunol. 20: 1(2001).

2. Kawamoto H, Katsura Y. Trends Immunol. 30: 193 (2009).

3. Wada H et al. Nature 452: 768 (2008).

4. Ikawa T et al. Science 329: 93 (2010).

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。
最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、
修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。